



東京都少年サッカー連盟 第6ブロック

2019 後期代表者会議

■東京都少年サッカー連盟第6ブロック 大会スケジュール

大会他	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
代表者会議他							☆ 7/21 代表者会議			☆ 10/20・26 指導者講習会 審判講習会					
チーム業務								☆ 8/31 大会費他、振込み							
三井のリハウス リーグ U-12							後期リーグ 毎週末開催								
JA東京カップ 【5年生】							準決・決勝 未定								
山下杯 体育の日記念 【5年生】											トーナメント 日程未定（4日間）週末分散開催(戸)				
全日本少年 サッカー大会										トーナメント(戸)					
3年生 研修大会							トーナメント 日程未定 週末分散開催(戸)他								
マザーズ ブロック大会									未定 予選L・決勝T(駒)						

- (戸)：荒川戸田橋サッカー場
- (赤)：赤羽スポーツの森競技場
- (大)：北区新荒川大橋サッカー場
- (北)：北運動場
- (浮)：浮間こどもスポーツ広場
- (高)：高島平サッカー場
- (三)：豊島区立三芳グラウンド
- (清)：清瀬・内山運動公園サッカー場
- (深)：FC東京深川グラウンド
- (駒)：駒沢補助グラウンド
- (新)：葛飾にいじゅくみらい公園運動場

2019年度、後期大会概要

■11月～2月開催

【山下杯 体育の日記念 5年生大会】

トーナメント戦トーナメント戦（通常設営・審判です）

トーナメント枠 当該年度JAベスト4・前年度山下杯ベスト4・当該年度JA
リーグ戦順位の順に枠を割り当てる。

■7月～10月開催

39Tリーグ戦【三井のリハウス 東京都U-12サッカー第6ブロックリーグ 後期大会】

10*3・9*1/171g

リーグ戦（通常の設定・審判です）

リーグ戦1グループ1位チームが東京1部リーグ（Tリーグ）出場決定戦参加推薦資格を得られる

※上位3チームにヒアリングを行い推薦チームを決定します。

■10月開催

39T トーナメント戦【全日本U-12サッカー選手権大会東京都第6ブロック予選大会】

39g トーナメント戦（通常の設定・審判です）

三井のリハウスリーグ戦参加全チームのトーナメント戦

※リハウスリーグに参加しないで全日本に参加は出来ません。

■7月～2月適宜開催

【3年生研修大会】

決勝トーナメント（通常の設定・審判です）

※上位6チームを中央大会に推薦します

■10月開催

【マザーズ第6ブロック予選大会】

予選リーグ+決勝トーナメント（通常の設定・審判です）

※上位1チームor2チームを中央大会に推薦します

後期リハウスリーグ運営について

グラウンド確保事情を鑑み、後期より各グループの自主開催を実施

A～Dグループで試合日程を調整実施

6ブロック実施要項に従い試合消化を実施

◆実施期間・結果報告

- ①7月末～10月13日
- ②各グループ、上記期間内の消化を必須とする
- ③試合実施後は速やかにブロックへ試合結果及び警告・退場を報告する

◆試合会場（グラウンド）

- ①フィールドの表面は天然芝、人工芝が望ましいが、クレーでも可とする（ライン表示についてはマーカーコーンの使用可）
- ②フィールドの長さ（タッチライン）は原則68m、幅（ゴールライン）は48mを基本とし、照度が十分に確保されていること。
- ③ペナルティエリア等・・・原則ペナルティエリア12mペナルティマーク8m、ペナルティアークの半径7m、ゴールエリア4mセンターサークルの半径7m
- ④各会場の使用規則に従い、各グループにて責任をもって設営・撤収を行う

◆その他、実施については別紙、6ブロック競技規則に準ずる

審判対応について

当該以外審判対応が望ましいが当該審判も認める
審判服は着用とする
警告・退場の累積は幹事チームで管理集計する
眼鏡の着用は認めない（スポーツ眼鏡は除く）

運営について

試合管理表（7月～8月開催）を入力のうえ本部に報告する

夏期の開催については熱中症対策考慮し実施する

選手証・メンバー表を提出（幹事チームで管理を徹底する）

各会場の使用ルールを守って開催する

簡易ゴールの使用は認める（少年用ゴールを使用する）

2019三井のリハウス東京都U-12サッカーリーグ 6ブロック実施要項

競技のフィールド

- ①フィールドの表面は天然芝、人工芝が望ましいが、クレーでも可とする（ライン表示についてはマーカーコーンの使用可）
- ②フィールドの長さ（タッチライン）は原則68m、幅（ゴールライン）は50mを基本とし、照度が十分に確保されていること。
- ③ペナルティエリア等・・・原則ペナルティエリア12mペナルティーマーク8m、ペナルティークの半径7m、ゴールエリア4m、センターサークルの半径7m

ボール

各チームから1個ずつ公認検定球を持ち寄る

競技者の数

- ①8人の競技者（うち1人はゴールキーパー）が試合に出場する。
 - * 一方のチームが8人に満たない場合は試合を開始しない。
 - * 試合開始時から試合終了時まで、2人以上（指導者ライセンス資格者）がベンチにいないといけない。

競技者の用具（ユニフォーム）

- ①リーグ実施年度の日本サッカー協会「ユニフォーム規定」に則る。
- ②番号表示はシャツの背面及び前面とする。ショーツには表示を推奨する。
- ③ユニフォームのメーカーロゴの違い、ストッキングのライン数には言及しないが揃えることが望ましい。

審判

試合は、1人の主審と1人の補助審判 2人の副審（必須）で運営される。

試合時間

試合時間は30分（前後半各15分）とする。ハーフタイムのインターバル（前半終了から後半開始まで）：原則 5分間

懲罰

本リーグ期間中に警告を3回受けた選手は、本大会の次の1試合に出場できない。本リーグ終了時点で、累積の警告は消滅するものとする。

(2) 本リーグにおいて退場、退席を命じられた選手、役員は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置についてはブロック審判部において決定する。競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。

(3) 警告の累積は順位決定戦には継続されないが、通算3回目の警告をリーグ最終戦で受けた場合は、順位決定戦の次の1試合が出場停止となる。

(4) 試合が成立しなかった場合（選手証不携帯、試合開始時に選手8名が揃わない、チーム役員がいない等）は棄権試合とし、取り扱いは次の通りとする。（原則棄権は認めない）

- ① 不戦勝チームには、勝ち点3、得点3を与える。
- ② 不戦敗チームには、勝ち点マイナス1、得点0とする。

(5) 本部で判断ができない事象が発生した場合は、速やかにブロック審判部に確認を取ること。

(6) 本協会諸規程および本記載事項にない事例に関しては、ブロック審判部にて決定する。